

作成日：西暦 2026 年 8 月 3 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

後期高齢者保険者データベースを用いたポリファーマシー関連因子とフレイル増悪との関連解析および予測モデルの基盤開発

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2018 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの期間に、後期高齢者保険者データベースに収載された 75 歳以上の方。

2. 研究目的・方法・研究期間

薬物有害事象や服薬アドヒアランスの低下、不要な処方、必要な薬剤の未処方、過量・重複投与などを含むポリファーマシーは、高齢者において医薬品の適正使用、医療安全および医療費の観点から喫緊の課題となっています。フレイルは、要介護化、入院、死亡のリスクを高める重要な健康状態であり、その進行を早期に把握し、適切な介入につなげることが求められています。ポリファーマシーとフレイルの双方向的関係は指摘されていますが、ポリファーマシーに関連する因子に基づきフレイル増悪を評価する手法は十分に構築されていません。そこで、本研究では、後期高齢者保険者データベースを用い、ポリファーマシーに関連する因子に基づきフレイル増悪を評価する手法の基盤開発を目的とします。このデータベースは、医療機関や薬局の診療・処方情報や健康診査（健診）情報などを個人が特定できない形でまとめたものです。健診情報には、フレイルの概念を取り入れた質問票（Questionnaire for Medical Checkup of Old-Old: QMC00）に加えて、Body Mass Index（BMI）、血圧測定、血液検査や尿検査などが含まれます。健診情報からフレイルの状態を評価し、診療情報や処方情報と組み合わせて解析を行います。本研究は、既に匿名加工されたレセプトデータおよび健診データを用いた後ろ向き観察研究です。研究期間は倫理審査委員会承認日から 2029 年 3 月 31 日までとします。本研究は、文科省科学研究費基金若手研究、藤田医科大学病院インセンティブ、および講座研究費を用いて行われます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、株式会社 JMDC が提供する後期高齢者保険者データベースに収載された匿名加工情報を用います。具体的には、年齢、性別、受診医療機関区分、併存疾患、医療利用状況、薬剤使用歴、処方薬剤数、減薬の有無、処方内容の変化、薬剤関連加算の算定状況、医療費、入院歴等を取得します。健診データとして、QMCOO に基づく問診情報に加え、BMI、血圧測定、血液検査（脂質、血糖、肝機能等）、尿検査などの項目についても、解析に用います。さらに、取得可能な場合には、心電図や眼底検査等の情報についても補助的に解析に含めます。フレイルの状態については、QMCOO に基づく問診情報から一定期間における変化を評価します。ポリファーマシーに関連する因子としては、潜在的に不適切な薬剤（potentially inappropriate medications; PIMs）の処方歴、重複投与、過量投与、日本版抗コリン薬リスクスケール、Drug burden index 等の指標を用いて評価します。

5. 利益相反

本研究に関する企業等からの資金提供はありません。研究分担者である祖父江および名執は、ウエルシア薬局の社員であり、データ収集・管理、統計・解析に関与します。また相宮は、スギ薬局の社員であり、データ収集・管理、統計・解析に関与します。尚、ウエルシア薬局およびスギ薬局からの本研究に対する資金提供はありません。企業に有利なように研究結果を捻じ曲げたりすることがないように、当該企業と利益相反を有さない長谷川が責任を持って研究全体を監督します。

6. 外部への試料・情報の提供

本研究は外部への情報の提供は行いません。

7. 研究組織

本学の研究責任者

藤田医科大学医学部 薬物治療情報学 講師 長谷川章

8. 除外の申出・お問い合わせ先

本研究で用いる情報は匿名加工情報であり、特定の個人を識別することができないため、個別の利用停止の対応はできません。

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

藤田医科大学医学部 薬物治療情報学

藤田医科大学 学長 岩田仲生

担当者：長谷川章

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話：0562-93-9563

e-mail: sho.hasegawa@fujita-hu.ac.jp